

AOB Seminar

講演者名: 大谷 真紀子 博士

所 属: 東京大学地震研究所

開催日時: 2015 年 7 月 10 日(金) 11:00 - 12:30

場 所: 地震・噴火予知研究観測センター 別館第1会議室

講演題目&要旨:

H行列法を用いた大規模準動的地震発生サイクルシミュレーション

プレート境界で起こる様々な時空間スケールのすべり現象の相互作用機構を検証し、巨大地震発生予測に関する知見を得ようという試みが現在なされはじめている。これを目的として、私はこれまで、実際の巨大地震発生領域を対象とした大規模地震発生サイクルシミュレーション(ECS)の実現を目指し、ECSの高度化を行ってきた。H行列法を導入することで準動的ECS計算の高速化を行い、これを用いてM7~M9の地震を含む、2011年東北地方太平洋沖地震の地震サイクルモデルを構築した。また、これまでに考慮されていない効果の導入として、地表面形状・すべりによる垂直応力の時間変化のECSへの導入を行った。以上について説明する。